

前原高校平和宣言

私達は、沖縄に住んでいます。そして今、幸せに暮らしていて、愛する人々がいます。友とのおしゃべりや、おしゃれなどを楽しみ、授業中の居眠りでさえ、現在の日本が平和であるがゆえの行為です。

しかし77年前、ここ沖縄では戦争が起こりました。そして、63年前には、石川市の宮森小学校とその付近の民家に米軍ジェット機が墜落炎上しました。愛する人々との別れで胸が裂かれ、友の苦痛な叫びが耳をつんざき、将来に繋がる糧さえも失われた時代があったのです。

人と人が武器を手に持ち、善悪の判断もつかず、人が人であることを忘れてしまう。そんな暗い闇の中で、出口も見えず、夢や希望を持つことも出来なかった人々の気持ちを想像してみてください。

また、これは過去だけの話ではありません。現在も世界のどこかでは内戦や国と国との争いが絶えず起こっているのです。

私達は平和を守っていくために「話し合う姿勢」を持つことを大切にしないといけません。些細なすれ違いが 大きなすれ違い になることを認識し、それを避けなければなりません。

そして、困っている人に手を差し伸べる 勇気を持ち 常に「ありがとう」という感謝の気持ちを持つようにしましょう。そうすれば、自然と笑顔が広がっていき、争いもなくなると思います。

私達、前原高校の生徒 一人一人 が、手を取り合って、これからの世界平和を目指し、努力していく事が平和への第一歩となるのです。

ここに、前原高校生徒全員、声を大にして平和を主張することを宣言します。

令和4年6月22日
生徒会長 大浜 礼士